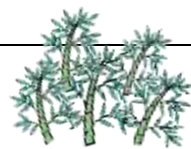


# 群竹



## あけましておめでとうございます

旧年中は本校教育活動に格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
おかげさまで本校教育活動のより一層の充実を図ることができました。  
これもひとえに皆様のご協力のおかげと深く感謝しております。  
本年も本校職員一丸となり教育活動の充実を図る所存です。  
今後も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

佐野市立田沼東中学校 職員一同

## ◇冬休み明け

冬休みが明け、学校に生徒たちの元気な声に戻ってきました。例年よりは長いとはいえ、2週間少々の短い冬休み、年末年始は普段とは違う生活リズムで過ごすことが多く、生徒たちの休み明けの学校生活に少々心配がありました。しかし、多くの生徒はしっかり気持ちの切り替えができたようです。

また、心配された新型コロナウイルス関連の影響はなく無事学校生活がスタートでき、ひとまず安心しております。ただし、全国的に感染者が急増しており、引き続き感染症対策の徹底を図っていく考えです。

さて、これから3月末までの学校生活は、各学年のまとめの大切な時期となります。そこで、生徒自身が自らの成長を自覚し、卒業あるいは進級に向けて目標や見通しをもって生活できるよう指導していく考えです。

## ◇前向きな言葉の力で自分の未来を開く、(全校集会校長講話から)

冬休み明け、本日1月7日(金)の1校時は全校集会でした。生徒に伝えた校長講話の内容を紹介します。

〈校長講話要旨〉

### お正月の行事は日本人が昔から長く変えることなく大切にしてきたもの

昔から正月には年神様が各家々に来ると信じられていました。年神様とは1年の初めに私たちの家にやってきて、健康や幸せを運んでくださる神様のことです。その神様をお迎えするために、暮れには大掃除をしたり、しめ縄といって玄関の飾り物を用意したり、鏡餅という丸い餅を2個重ねて家の中に飾ったりしました。今もそうしている家庭は多いと思います。「あけましておめでとう」というあいさつの言葉も元は年神様を迎える言葉だったそうです。

これらの正月の行事は日本人が昔から長く変えることなく大切にしてきたものです。ではなぜ私たちはこのように正月を特別のものと考え、同じ行事を毎年続けてきたのでしょうか。

それは新しい年の初めである正月が、生きていくうえでの大きな節目となっていたからです。節目とは竹などにある節となっている所のことを言いますが、物事の一区切りとなる大切なところという意味でも使われています。つまり、正月はどの人にとっても気持ちを新しくして、つまりリセットして、目標を立て、決意を新たにするという節目なのです。

### **前向きな言葉の力で自分の未来を開く**

今年1年が希望に満ちた年になることを願っていますが、1年間のうちには、誰もが多かれ少なかれ、苦しいことや理不尽なことを経験すると思います。友人関係、学習のこと、部活動のこと、既に経験した人も多いと思います。そしてこれからは進路のこともあるでしょう。希望を見つけ出せないとき、悩みの穴から一生抜け出せないと思うとき、そんなときは言葉の力を信じてみてください。積極的な言葉を発すれば、前向きに明るく生きようという気持ちに変えることもできます。

例えば、同じ出来事でも、「この経験を生かして、次はがんばってみよう」と言葉を発するのと、「もうだめだ、運が悪いなあ」と言うのでは、その後の行動は違い、結果も違ってくるのは明白です。「自分の未来は自分が切り開く」そんな今の決意を持続し、現実にしていくためにも、前向きな言葉を心にいっぱいためて発信していきましょう。

### **次の学年の0学期を意識して**

ここから3月まで、1年生は第2学年0学期、2年生が第3学年0学期、3年生は卒業と新たな人生のスタート地点という意識をもって3か月間を過ごしてください。皆さんの頑張りで、今年1年が充実した素晴らしい年となることを期待します。

### **◇生徒会役員選挙結果について**

先月末に実施された生徒会役員選挙及び決選投票の結果、令和4年度の本校生徒会役員について、会長・副会長が決定しました。

会 長：〇〇 〇〇さん（2年）

副会長：〇〇 〇〇さん（2年）、〇〇 〇〇さん（1年）

### **◇手洗い場の増設**

冬休み中に増設工事が実施され、南校舎2階及び3階東側フロアに手洗い場が増設されました。手洗い場の増設は今年度4か所となり、全学年フロアの手洗い場の増設が完了しました。

増設にご尽力いただいた佐野市・佐野市教育委員会の皆様に深く感謝いたします。



左側が増設された手洗い場（2階）